

馬場目川水系土地改良区

受益面積 903ha

地域の概要

■ 二級河川馬場目川から取水する約900haの受益地を擁する土地改良区である。

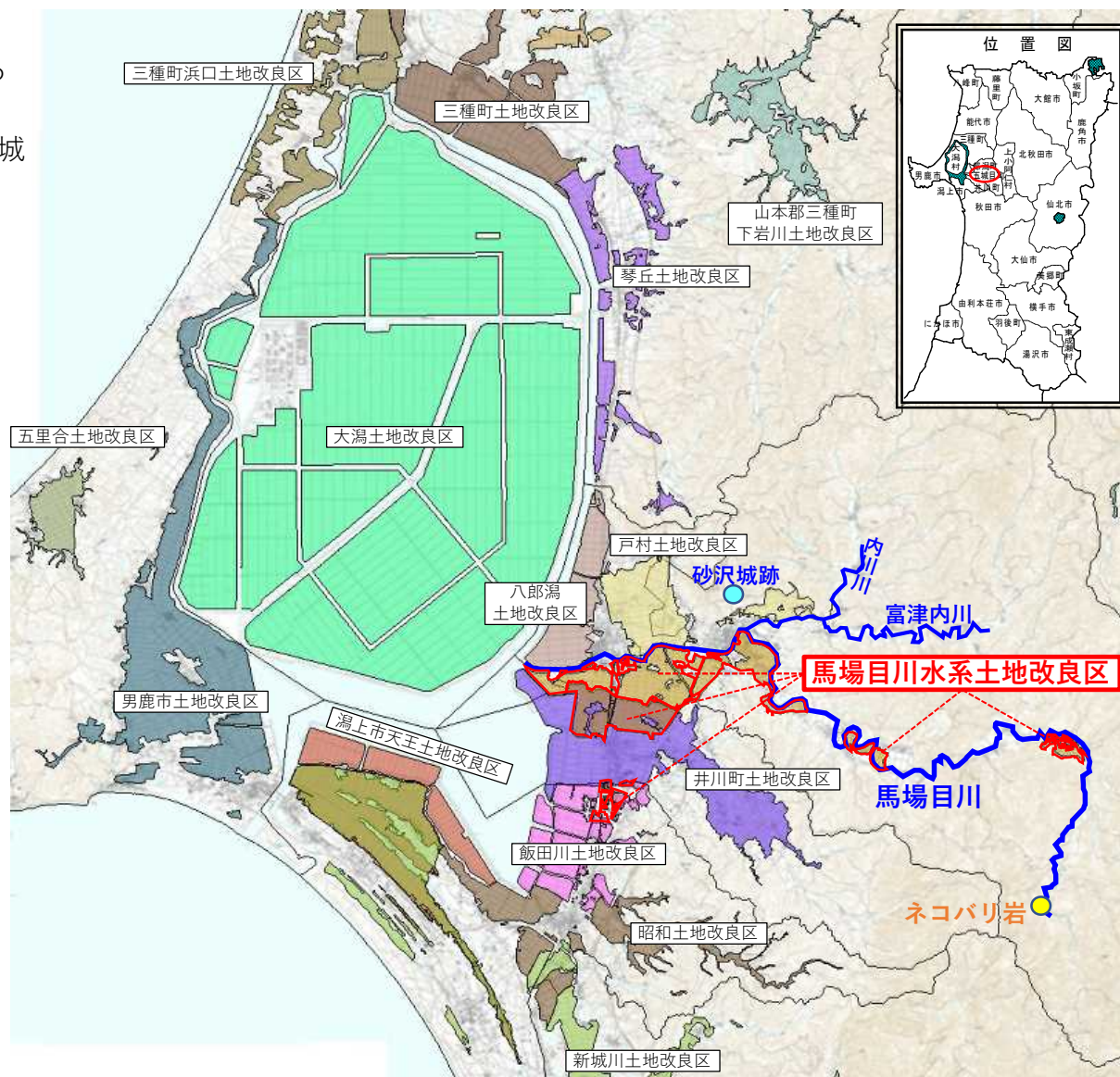
■ 中心的な施設は真崎堰頭首工であり、この幹線水路は五城目町・井川町・潟上市に亘りかんがい用水を供給する。

※ 受益地の一部は井川町土地改良区、飯田川土地改良区と重複

馬場目川源流のネコバリ岩

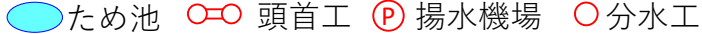


奥側の山際が受益地



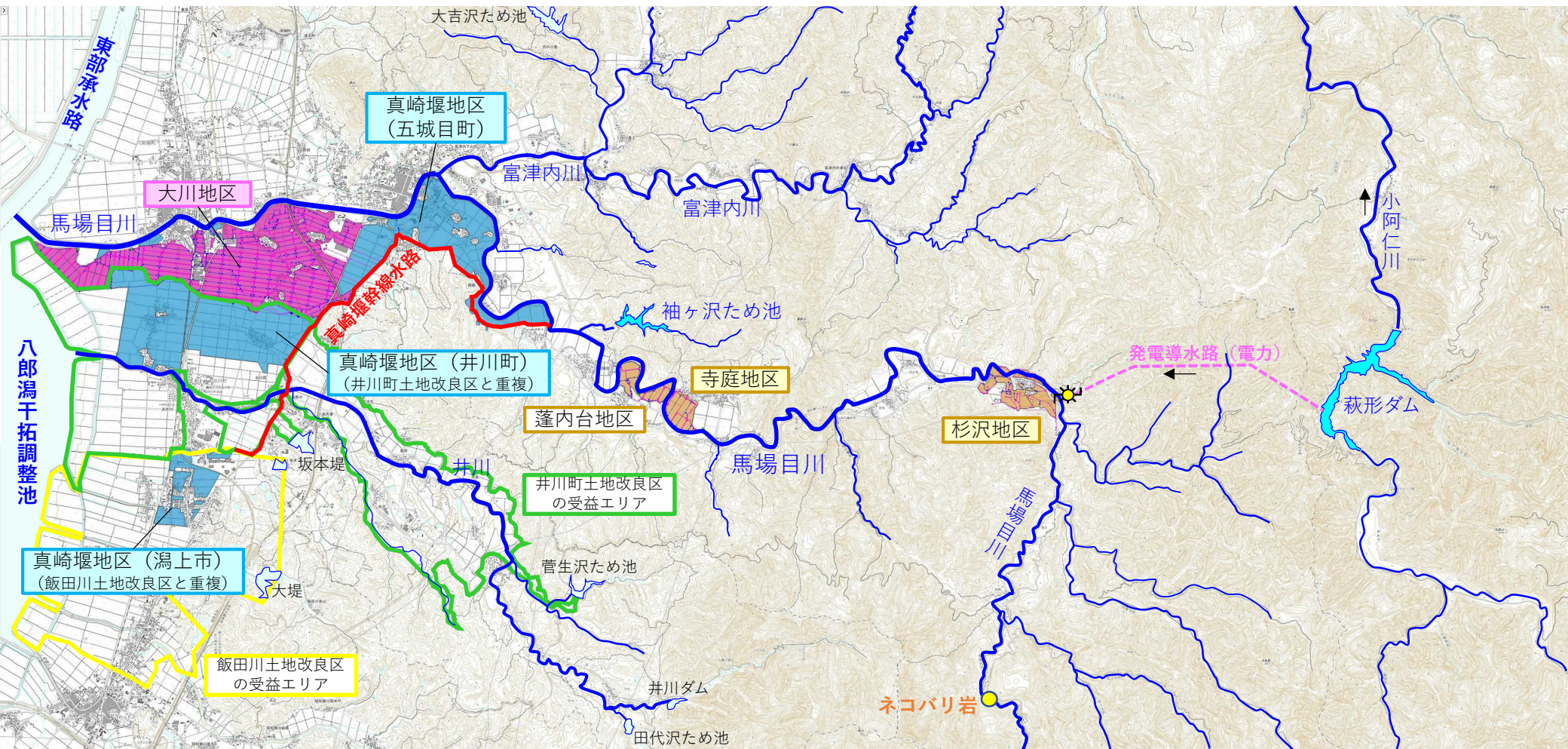
【内 容】

- 地区の構成
 - ・（関連する施設）萩形（はぎなり）ダム・杉沢発電所
- 農業水利システム【真崎堰地区／大川地区】
 - ・（各施設の状況）袖ヶ沢ため池
 - ・（各施設の状況）真崎堰頭首工
 - ・（各施設の状況）真崎堰 幹線水路等
- 農業水利システム【杉沢地区】
- 農業水利システム【蓬内台地区／寺庭地区】
- 農業水利システム【（参考：受益外）久保堰掛かり】
- 施設の維持保全
- ほ場整備

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会 秋田県秋田地域振興局農村整備課
協 力	・ 馬場目川水系土地改良区 ・ 五城目、井川町、潟上市 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和 7 年 3 月
基本凡例	  ※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのとおりの表記となっていない場合がある
出 典	・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり - 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 - 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 - 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。 これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。 本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点が古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予め了承ください。

地区の構成 馬場目川下流の2地区及び馬場目川上流の3地区の合計6地区で構成される

- 馬場目川下流域は馬場目川左岸から取水する真崎堰幹線水路掛かりの真崎堰地区・大川地区。
 - ・ 真崎堰幹線水路の下流側の受益地について、井川町部分は井川町土地改良区と、潟上市部分は飯田川土地改良区とそれぞれ重複。
- 馬場目川上流域は ほ場整備事業を実施した杉沢地区・寺庭地区・蓬内台地区。
- 馬場目川には、子吉川水系の小阿仁川にある萩形ダムからの水力発電導水路による注水がある。



(関連する施設)

萩形（はぎなり）ダム・杉沢発電所

■ 子吉川水系の小阿仁川上流に建設された多目的ダム。小阿仁川流域の洪水被害軽減、下流既得用水の補給等の河川正常流量維持とともに、県営の杉沢発電所において発電を行い、馬場目川水系に放流する。このため、間接的に馬場目川水系の流量維持に寄与している。

目的	洪水調節
	河川流量維持
	発電
ダム形式	重力式コンクリート
竣工年度	昭和41年
堤高	61.0m
堤頂長	173.0m
堤体積	111千m ³
集水面積	86.7km ²
湛水面積	0.85km ²
総貯水容量	14,950千m ³
うち洪水調節	10,000千m ³
常時発電力	1,800kw
最大発電力	15,500kw
最大使用水量	14.0m ³ /s

ダム堤体



ダム貯水池



発電用取水施設

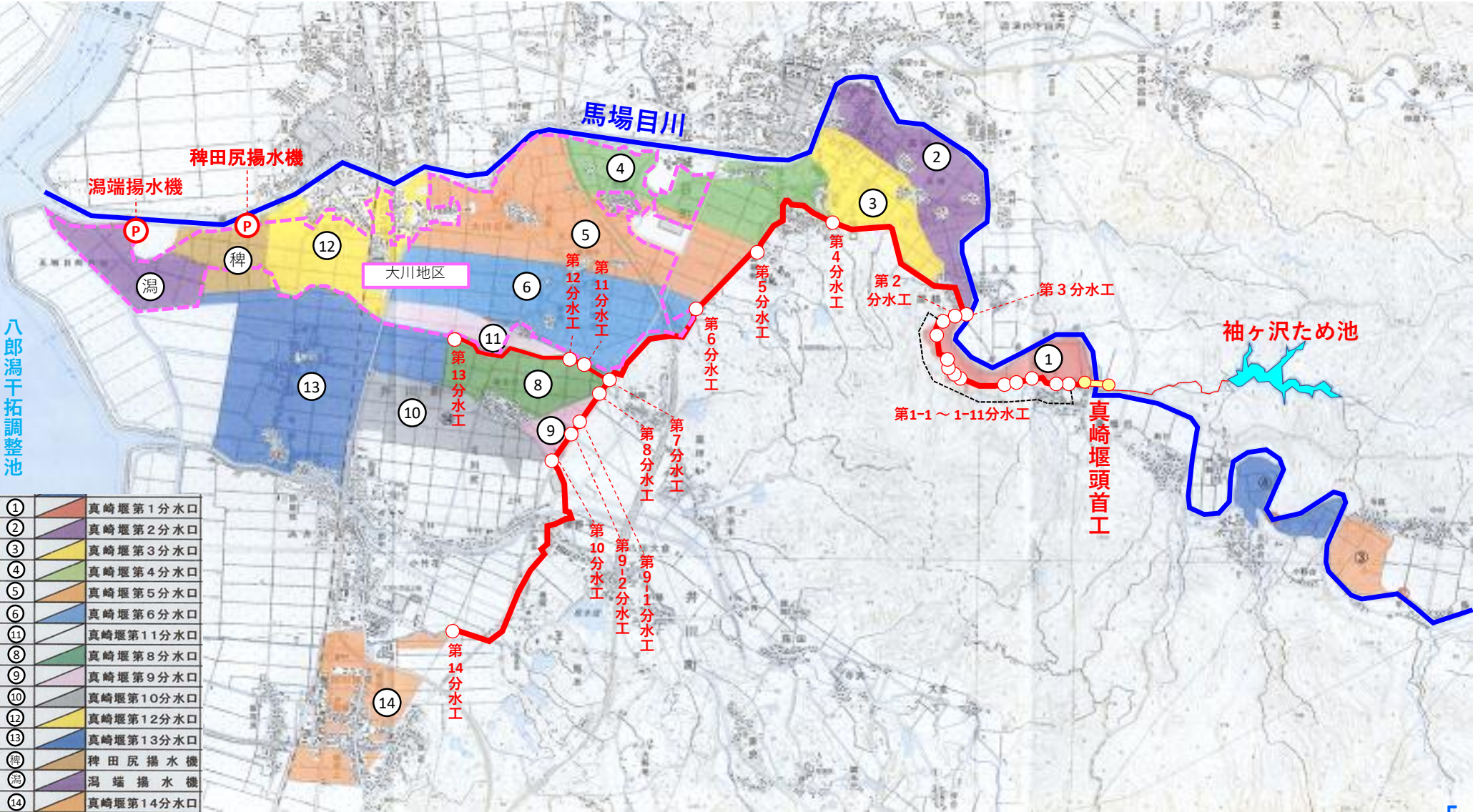


杉沢発電用所



農業水利システム 真崎堰地区／大川地区 頭首工から開水路の幹線水路を通じ用水供給

- 八郎潟調整池に注ぐ二級河川 馬場目川より真崎堰頭首工から取水。幹線水路は開水路であり山腹沿いに導水。
- 袖ヶ沢ため池は真崎堰幹線掛かりの調整施設であり、真崎堰頭首工の直上流に注水可能。
- 受益地への支線水路・末端小用水路は開水路であり上流制御タイプ。

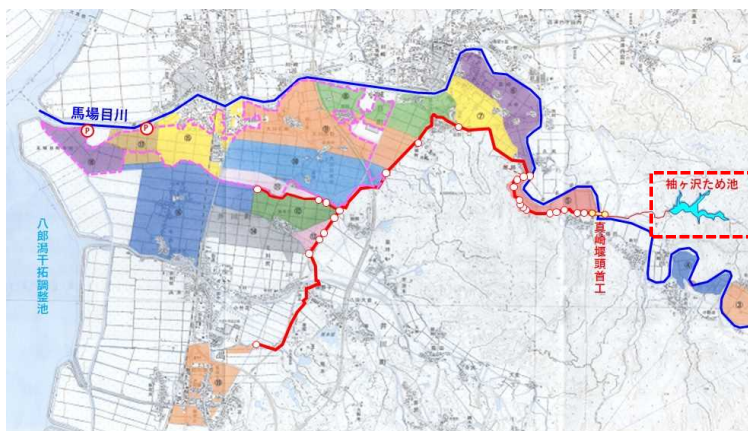


(各施設の状況)

袖ヶ沢ため池

- 袖ヶ沢ため池は馬場目川の支川上流に築造され、真崎堰掛かりの受益約800haに用水供給を行う貯水施設である。
- 袖ヶ沢ため池からの補給水は、馬場目川に設置された真崎堰頭首工により取水される。

河川	堤高	堤長	有効貯水量
馬場目川支川	17.1 m	150.8 m	783 千m ³



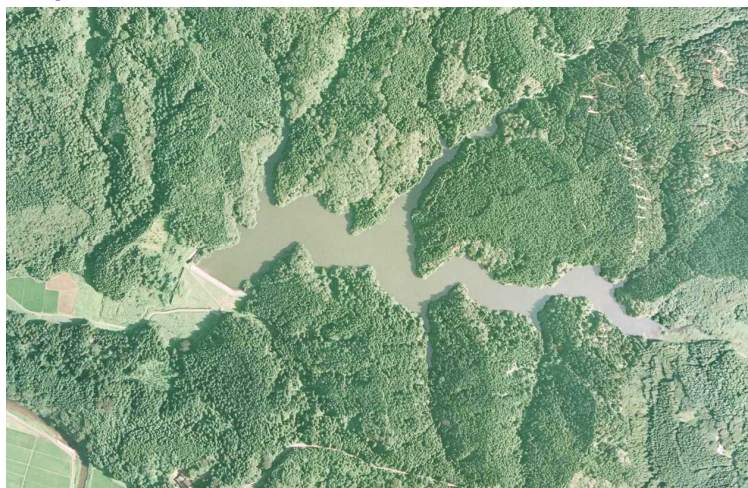
貯水池



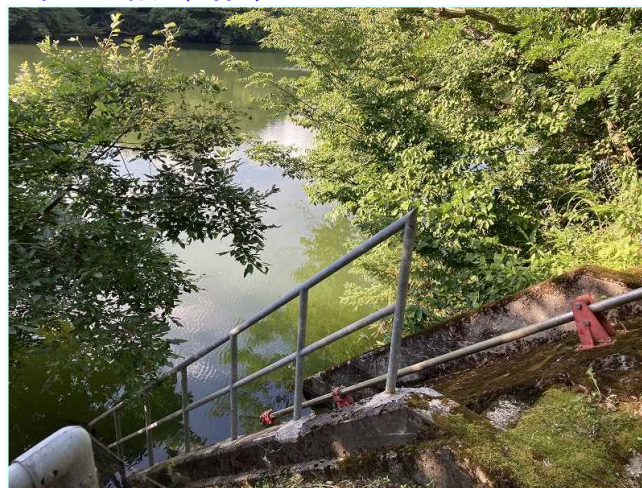
堤体



全景



取水施設 (斜樋)



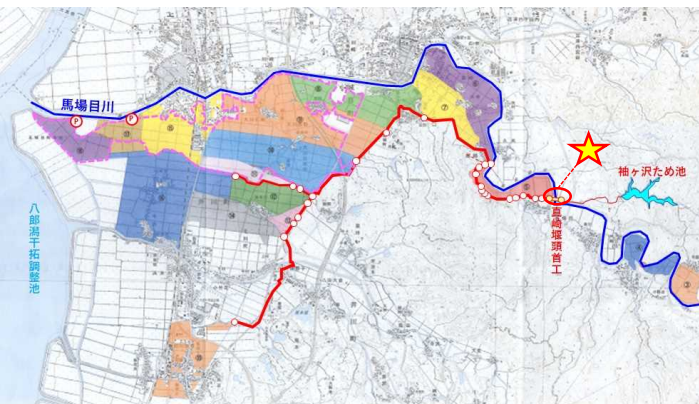
洪水吐 (側溝型)



(各施設の状況)

真崎堰頭首工

- 真崎堰頭首工は馬場目川の中流域から取水する施設であり、幹線用水路は山沿いに西⇒南西へと回り込み、五城目町・井川町・八郎潟町の受益地に用水供給を行う。
- 頭首工の直上流右岸側からは、袖ヶ沢ため池からの補給水が注水される。



石碑は語る

竣工記念碑

真崎堰かんがい排水事業は元和八年真崎家により開掘された水路を全面改良舗装したものであり 袖ヶ沢老朽ため池事業は昭和十一年県営事業として築造されたものを全面改修したものである

画期的両大事業の完成は一千名組合員及び総代の協力と関係役員の努力が実を結んだものである。

県営かんがい排水事業

総事業費 二億二千九十八万円

水路舗装延長 一万一千二百二十二米

工事期間 昭和三十九年度から七ヶ年

県営老朽ため池事業

総事業費 一億六千七百九千円

工事期間 昭和四十六年度から五ヶ年



(各施設の状況)

真崎堰 幹線水路等

■ 幹線水路は開水路であり、要所には分水位を確保するよう堰上ゲートが設置されている。

第5分水工



支川水路



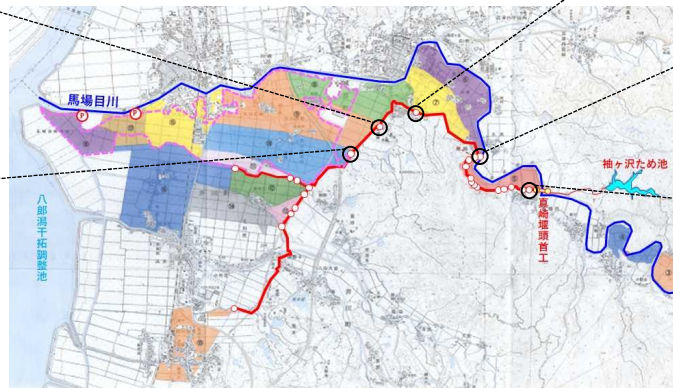
第4分水工



河川放流口 (第3分水工部)



第6分水工



支線・末端水路



第1-1分水工

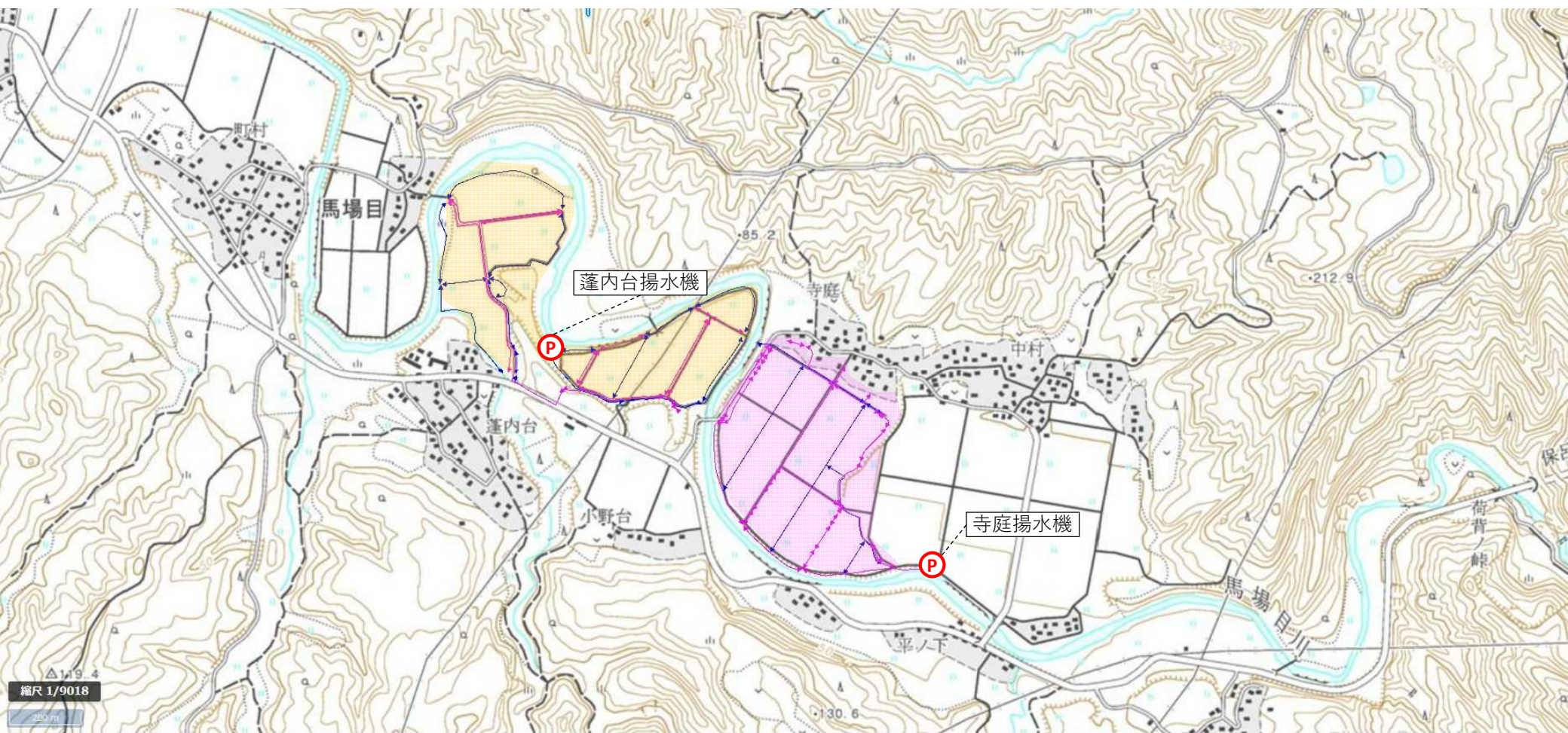


農業水利システム **杉沢地区** 揚水機から開水路の幹線水路を通じ用水供給

- 平成24～30年度のは場整備「五城目杉沢地区」において区画整理に合わせて杉沢揚水機等の水利施設を整備。
- 杉沢揚水機からの用水は開水路を経由し受益地に送水される。
- 受益地の右岸側に萩形ダムから送水される杉沢発電所があり、当該地点から馬場目川に注水される。

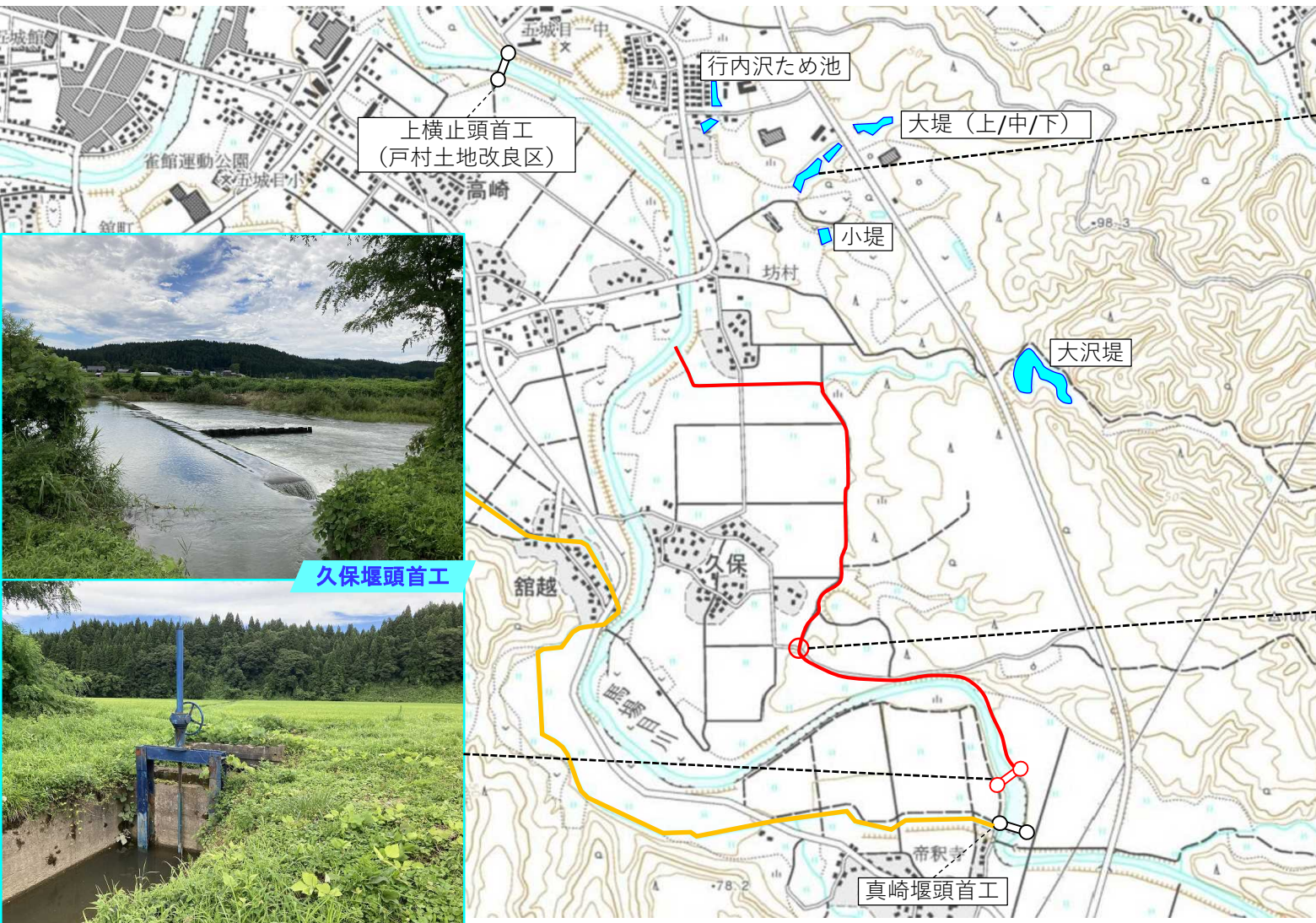


- 蓬内台地区は平成10～17年度のは場整備「蓬内台地区」において区画整理に合わせ蓬内台揚水機等の水利施設を整備。
- 寺庭地区は平成11～14年度の土地総「寺庭地区」において区画整理に合わせ寺庭揚水機等の水利施設を整備。

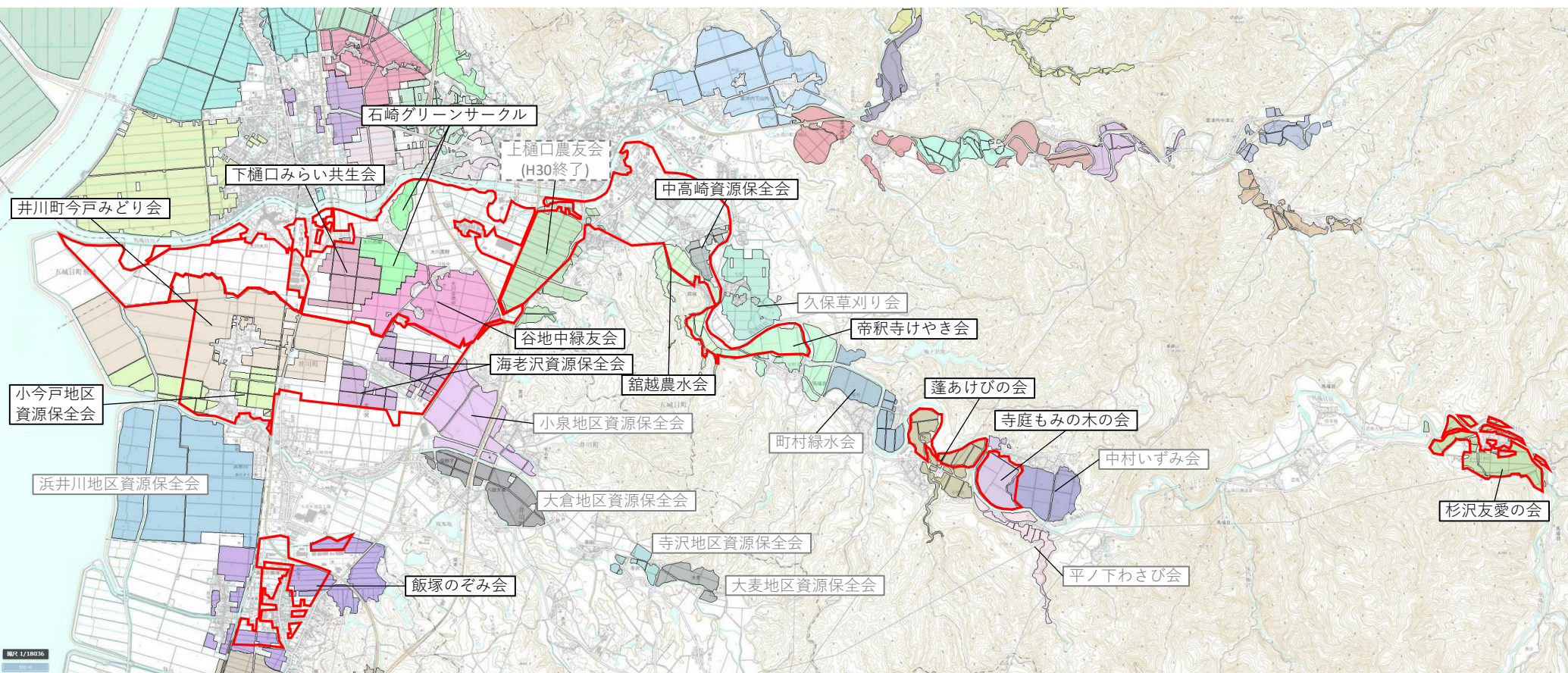


頭首工から開水路の幹線水路を通じ用水供給

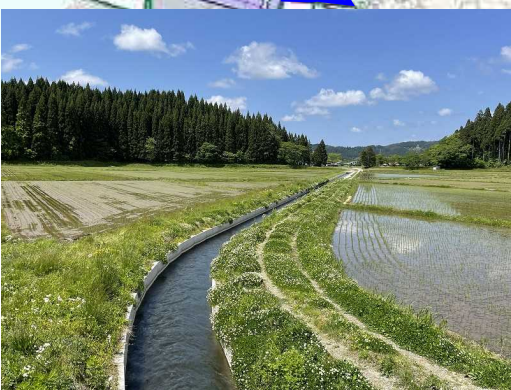
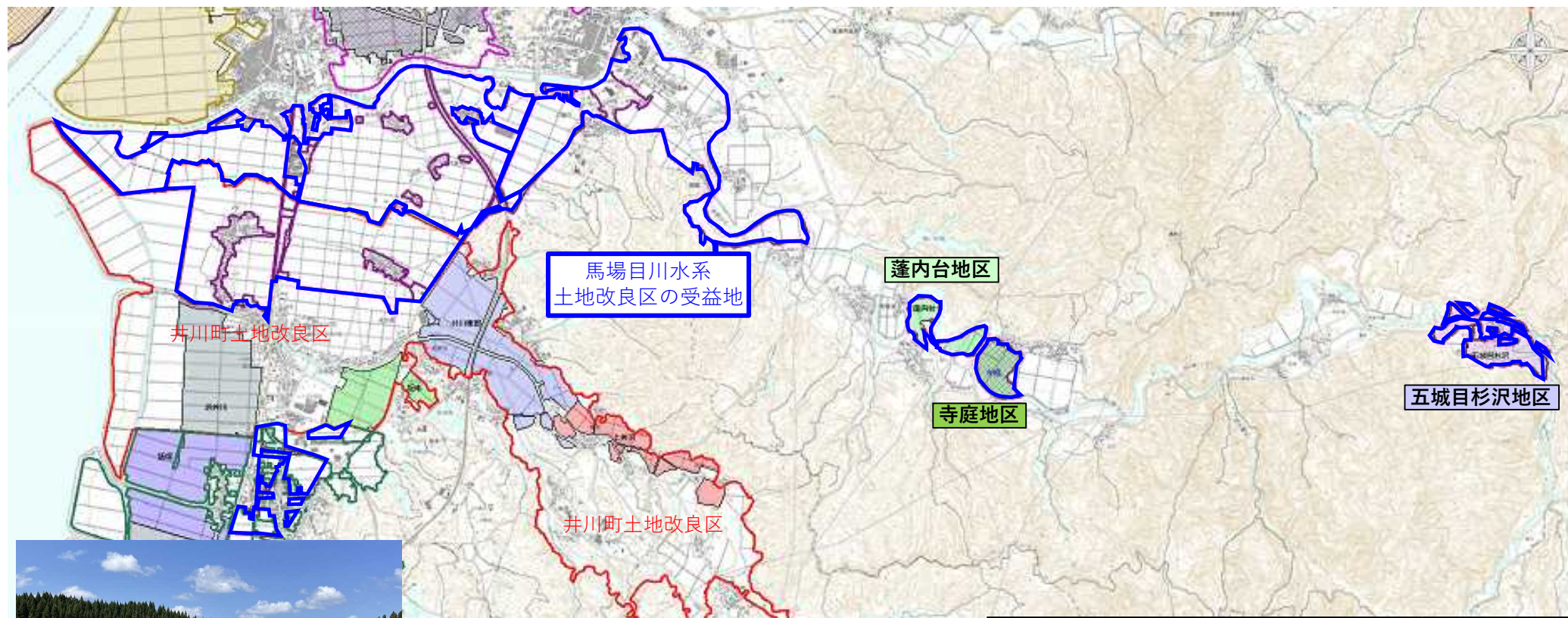
- 久保堰は真崎堰下流から右岸側に取り水し、久保集落付近の農地に用水供給を行う開水路システム。
- 久保堰の下流側は大沢堤ほかため池群により用水供給される。



■ 管内の大半に多面活動組織が存在。土地改良区はこのうち4組織の構成員となっており、3組織の事務を受託。



■ 真崎堰頭首工の上流側であり、馬場目川中流～上流域においてほ場整備を実施した地区を土地改良区に編入。



	制度	工期	受益
蓬内台	担い手	H10～H17	20 ha
寺庭	土地総	H11～H14	22 ha
五城目杉沢	加速化	H24～H30	32 ha